

1年 家庭科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成方法について理解している。 ・地域の食文化について理解しているととともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているととともに、適切にできる。 ・製作するものに適した材料や縫い方について理解しているととともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な金銭管理の仕方について理解している。 ・契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食習慣について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして解決する力を身に付けている。 ・中学生の1日分の献立について問題を見出して設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・物資・サービスの選択・購入自立した消費者としての消費行動について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法	○定期考査、ワークシート、作品、実技テスト	○授業観察、ワークシート、定期考査、作品	○授業観察、ワークシート、作品、レポート
カテゴリ	90～100%・・・「5」	それぞれの観点別評価は原則として	
ンク	80～90%・・・「4」	「A」・・・80%以上	
ポイント	50～75%・・・「3」	「B」・・・50%以上	
	20～50%・・・「2」	「C」・・・50%未満	
	0～20%・・・「1」		

2年 家庭科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・家庭内事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整えた方について理解している。 <ul style="list-style-type: none"> ・製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解している。 ・地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善して考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境に配慮し、製作計画や製作について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善して考察したことを論理的に表現するなどして課題解決する力を身に付けている。 ・衣食住の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し計画を立てて実践したことを論理的に表現するなどして課題解決する力を身に付けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組み改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・衣食住について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、書億生活、衣生活、住生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。
方法	○定期考査、ワークシート、作品、実技テスト	○授業観察、ワークシート、定期考査、作品	○授業観察、ワークシート、作品、レポート
カテゴリー	それぞれの観点別評価は原則として 90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～75%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満		

3年 家庭科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。 ・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児との関わり方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・家族、幼児の生活又は地域の生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活又は地域の生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解している。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
方法	○定期考査、ワークシート、作品、実技テスト	○授業観察、ワークシート、定期考査、作品	○授業観察、ワークシート、作品、レポート
ポイント	それぞれの観点別評価は原則として 90～100%・・・「5」 「A」・・・80%以上 80～90%・・・「4」 「B」・・・50%以上 50～75%・・・「3」 「C」・・・50%未満 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」		